

## 家庭学習のすすめ（保護者用）

4月から全校で統一した家庭学習の取り組みをし、学習習慣を身につけさせたいと考えています。各学年に「手引き」を配付しましたので、参考にしながら励まし見守ってください。

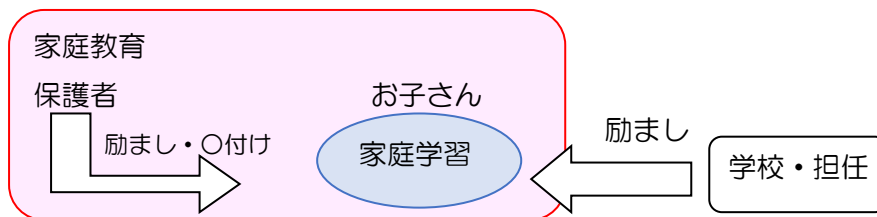
### 1 家庭学習のねらい

- ① 家庭での学習習慣を身に付けさせる。
- ② 期日までにやるべきことを行う力をつける。
- ③ 学校で習得した基礎・基本の確実な定着を図る。

### 2 学年のめあて

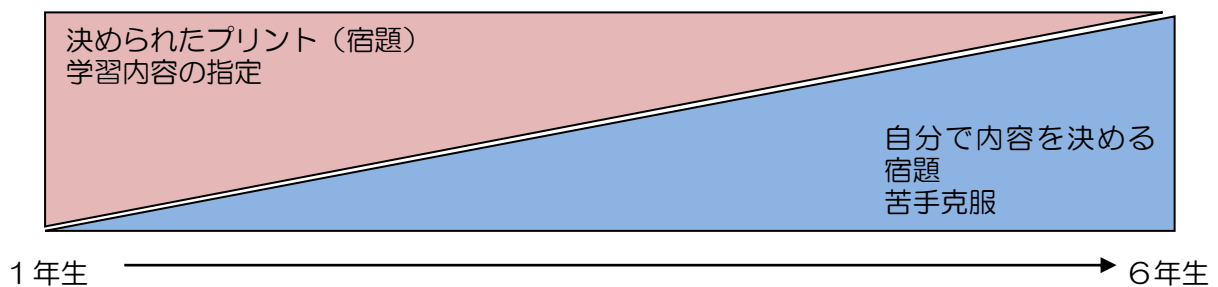
低学年 「毎日、机に向かって学習しよう」  
中学年 「学校で学習したことをさらに深めよう」  
高学年 「ノート学習で力をつけよう」

### 3 家庭学習のとらえかた



### 4 家庭学習の取り組み方

- ① 担任から出る「宿題」を最初にさせてください。ただし、発達段階や児童の実態に応じて変更もあります。
- ② その後、「家庭学習の内容」をヒントに、お子さんと相談して決めてください。
- ③ 担任から家庭学習のメニューなどが示される場合もあります。
- ④ 家庭学習の内容の捉え方



## 5 保護者のみなさまにお願いしたいこと

### ① 学習時間の確保

学習時間は、【10分×学年】が、めやすとなります。習い事・スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思います。まずは、睡眠 を優先させてください。そして、無理のない範囲で、短い時間でもよいので取り組む習慣を身に付けさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを家庭でよく話し合っ、時間設定をしてください。

### ② 学習環境の整備

「ながら勉強」（テレビを見ながら、お菓子を食べながら）は、やめさせましょう。子どもたちが落ち着いた環境で学習できるように、目に入るものを片付ける（視覚情報の制限）に心がけるなど、ご家庭で工夫したり話したりして下さい。

### ③ 見届け・励まし・丸付け

低学年の時は、おうちの方の支援が、その習慣づけや意欲づけに大きく影響します。中学年・高学年と学年が上がるにつれて、自分で学習することができるように少しずつ手を離して行ってほしいと思います。

「勉強を見ている」「勉強する時間を決めて守らせる」など、保護者の時間を何らかの形で使わなければならない手間のかかるかわりは、効果が高いという研究の成果もでています。子どもたちのがんばりに対する励ましの声かけが、子どもたちの学習意欲をさらに高めていくことになると考えます。

丸付けもご家庭（子ども自身も可。実態に応じて）でよろしくをお願いします。